

ハザードマップ

「ハザードマップ」は、大雨によって河川が氾濫した場合に想定される浸水区域や土砂災害警戒区域、避難所などを地図に記載したものです。お住まいの地域の災害リスクを確認しましょう。

・「香芝市地理情報公開システム(公開型GIS)」

本市では、「香芝市地理情報公開システム(公開型GIS)」の運用が開始されています。公開型GISは、ハザードマップなどの行政情報を市ホームページからご覧いただけます。

香芝市地理情報公開システム
(公開型GIS)HP



市HP



・「香芝市総合防災マップ」

市全域の洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域などを記載した地図とさまざまな災害に関する啓発記事を掲載しています。市役所3階の危機管理課窓口で配布しているほか、市ホームページからもダウンロード可能です。

同報系防災行政無線

気象・災害、国民保護や避難指示などの情報を地域の皆さまにお知らせすることを目的とした通信システムです。屋外スピーカーにより、地域の皆さまへすばやく、一斉に情報をお伝えすることができます。

市内全域へ届くことを想定していますが、風向きや天候などにより、聞こえ方が異なります。放送を聞き逃した場合は市ホームページや専用電話番号(0745-77-3110)にかけることで、内容を確認することができます。

*災害時は緊急速報メールやSNSなど複数の災害情報伝達手段を組み合わせます。

市HP



次のような情報を
放送します

- ①特別警報や緊急地震速報などに関する情報(気象庁)
- ②弾道ミサイル情報など国民保護に関する情報(内閣官房)
- ③災害時の避難情報(香芝市)
- ④平時におけるお知らせなど

令和8年5月29日(金)に気象の警報などが大きく変わりました

・発表される警報・注意報の名称に「レベル」が付記されます

とるべき避難行動が直感的にすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。

・「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

・線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表されます

顕著な現象は新たに「気象防災速報」として発表されます。

気象庁HP



避難のタイミングはレベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、レベルごとにチェック！



レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況に該当する ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する
レベル4 危険警報	・危険な場所から全員避難する *台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了する
レベル3 警報	・避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難する ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難する
レベル2 注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・避難情報の把握手段を再確認する
レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを一段階高める